

国語 第1学年 おばさんとおばあさん

検討会の想定問答

指摘1: この教材で身に付ける力は何か。

返し: 長く伸ばす音を聞き取り、平仮名の表記と対応させる。B(1)ウに関わる学習として、長音の音と表記、語の意味を確かめた自作文で言葉の扱いを確かめる。

指摘2: 学習できたと判断する根拠は何か。

返し: 評価では、語と語との続き方に注意しているかを、長音の音と表記、語の意味を確かめた自作文と活動中の発言・操作から確かめる。作品の量や見た目、発言の回数だけで判断しない。

指摘3: 活動だけで終わらせないために何を残すか。

返し: 長音の音と表記、語の意味を確かめた自作文を残す。完成後の見た目だけでなく、どの言葉を選んだか、その理由を本人の説明と照合する。

指摘4: つまづきにはどう対応するか。

返し: 長音を表す文字を落とす、音と表記を対応させずに写す。その場合は、伸ばす音を指で示してから書く。実在しない語は正しい語の例として使わず、誤りの比較例として区別する。

指摘5: 本時の問いはどのように働くか。

返し: 「伸ばす音を書き落とすと、相手にはどんな言葉に聞こえますか」に一度答えてから活動に入り、確かめた後に答えを比べる。教師の予定した文と一致するかではなく、言葉と理由の対応で判断する。

指摘6: 友達と違う考えはどう扱うか。

返し: 読み手が受け取った意味を確かめ、自分の意図と違った箇所を選んで直す。残した表現にも理由をもつ。友達と同じ表現に直すことを目的にせず、伝わったことと確かめる必要があることを区別する。

指摘7: 態度の評価は参加の様子で決めるのか。

返し: 参加回数や声の大きさだけで決めない。学習の見通しをもち、困った箇所を確かめて方法を試した記録から、粘り強さと自分の学習の調整を捉える。

指摘8: 端末や特別な道具がなくても進められるか。

返し: 長音の音と表記、語の意味を確かめた自作文は紙・板書・口述の記録で扱える。端末がある場合は見直し前後を保存して比べる。道具の操作の上手さを国語の評価と混同しない。

指摘9: 配当時間を変更する時は何を確かめるか。

返し: 全2時間は光村図書の公式年間指導計画に基づく。本案の各時の配分は授業案であり、学校の年間計画に合わせて組み替える際も、目標と評価を確認する活動を残す。

指摘10: 教科書本文を配布物に載せていない理由は何か。

返し: 児童と教師は使用中の教科書を手元で参照する。本案には独自の問い、活動の手順、記録の観点を示し、本文や台詞、挿絵、教科書の問題文を複製しない。

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie_ai_katsuyo)
https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo

LINEオープンチャット
みえ先生ラボ

